

就職内定報告 2018

服装学部
服装社会学科

(現：ファッション社会学科)

4年

栃木県 / 上三川高等学校 出身

内定企業

株式会社バイクルーズ / 総合職

事業内容：レディース・メンズのトータルファッションの企画・製造・販売・直営店の運営、インテリア事業、フィットネス事業等



ファッション業界で働くことは、高校生の頃から決めていた

ファッションを好きになったきっかけは地元の服屋さん。洋服が並んでいる空間がとても好きで、通っているうちに自分がお客様にファッションの楽しさを届けたいと思うようになっていきました。将来はショップで働きたい、もしくは自分のお店を持ちたいと考え、進学は「4年制大学でファッションを学べる学科」と決めました。

服装社会学科（現：ファッション社会学科）を知った時は、「社会学」=ビジネスっぽい授業をやるのかなというイメージでした。高校3年生の時、サマーオープンカレッジに参加してマーケティングの授業を体験し、それがとても刺激的で面白かったことを覚えています。ここならファッションビジネスを専門的に学ぶことができると思い、入学を決意しました。

販売のアルバイトから、商品を「生み出す」人へ

元々、好きなこと・興味のあることには熱中するタイプ。その点では自分の将来について考えた時、服に関係する世界からは絶対に外れないだろうと確信していました。その中で何になりたいのかわからなかったけれど、きっとファッション業界で働くだろうと思っていました。

入学後は、ファッションを幅広くかつ専門的に学びながら、アパレルのアルバイトでも接客スキルとファッションの知識を磨いていきました。そんな経験を積むうちに、お客様の人生を豊かにし、幸せやワクワクする気持ちを与えることができる商品を生み出したいと強く思うようになり、MD(マーチャンダイザー)を目指そうと決意。MDは新卒ですぐになれるものではありません。3年生の秋からはアパレル企業のインターンシップに参加したり業界・職種説明会等に足を運ぶようにして、総合職採用をめざして本格的に就職活動を開始しました。



面接で想定される質問を箇条書きして自筆でびっしり書き込んだノート。ゼミの先輩から譲り受けたノート(水色)は企業研究や面接対策の参考になり、とても感謝しています。



常に挑戦する気持ちでMDをめざしたい

内定をいただいた(株)バイクルーズは、ファッションだけでなく「食」「住」「美」など多様な事業も展開していて、ライフスタイル全般を豊かにするための提案に取り組んでいることに魅力と可能性を感じています。まずは店頭で販売員として現場(お客様)の声をしっかり感じ取り、数年後にMDを目指したいですね。目標は、日本のみならず海外のお客様にも求めてもらえるような価値ある商品を生み出し、ブランドのファンを増やすこと。ファッション+αの付加価値を考え、常に挑戦する気持ちを持ち続けていきたいと思っています。



文化学園大学ホームページ
<https://bwu.bunka.ac.jp/>